

## パリ DAC 通信

(DAC はアンタイド化の拡大に合意～ハイレベル会合の結果)

DAC は5月21日のハイレベル会合にて、「2001年 DAC アンタイド化勧告」の対象を後発開発途上国(LDC)以外の重債務貧困国(HIPCs)にも拡大することで合意しました。

### ■LDC のみが対象であった「2001年アンタイド化勧告」

2001年4月に採択された「2001年 DAC アンタイド化勧告」は、対象国を LDC のみとし、また技術協力と食糧援助の除外や、約1億円以上の案件を対象とする下限などが規定されていました。一方で、同勧告には将来のアンタイド化の対象の拡大を目指し、「対象外への拡大の可能性を研究する」ことも盛り込まれていました。

### ■「パリ宣言」にも盛り込まれたアンタイド化

2005年3月に採択された「援助効果向上のためのパリ宣言」も、「援助のアンタイド化は一般的には被援助国の取引費用を低減し、オーナーシップやアライメントの向上するため援助効果向上を促進するもの」としてアンタイド化のメリットを謳っています。このためアンタイド化の進展はパリ宣言モニタリングの12の指標のひとつともされ、また今年のアクラ・ハイレベルフォーラムに向け、アンタイド化は被援助国の6大関心事項の一つとされることとなりました。

### ■アクラ・ハイレベルフォーラムに向けて DAC で議論

このようにアンタイド化は、援助効果向上の観点からも重要視されることとなっています。このため、DAC では LDC へのアンタイド化の着実な履行とともに、対象国の拡大に関しメンバーが交渉が重ね、その結果、アクラ・ハイレベルフォーラムに向けて、LDC 以外の HIPCs への拡大の合意に至ったものです。

### ■LDC 以外の HIPCs は8カ国

今回の合意により、「2001年 DAC アンタイド化勧告」の対象は LDC 以外の HIPCs であるボリヴィア、カメルーン、コートジボワール、ガーナ、ガイアナ、ホンデュラス、ニカラグア、コンゴ民の8カ国にも拡大され、これにより LDC への援助と同様に、これら8カ国へ援助の調達の事前通報や契約に関する毎年のモニタリングが実施されることとなります。

### ■アンタイド化の安易な拡大には慎重論も

ハイレベル会合では、これら8カ国が HIPCs から将来卒業する可能性を見据えた5年後の見直しの必要性、またアンタイド化により落札する企業の質(環境社会配慮や CSR の遵守)の確保や新興ドナー国のアンタイド化への関与の重要性なども指摘され、安易なアンタイド化の拡大が必ずしも援助効果向上に直結するものではないとした慎重論も議論されました。

(ハイレベル会合の概要については、こちらをご覧ください)

[http://www.oecd.org/document/24/0,3343,en\\_2649\\_33721\\_40660248\\_1\\_1\\_1\\_1,00.html](http://www.oecd.org/document/24/0,3343,en_2649_33721_40660248_1_1_1_1,00.html)

)